

心に残る文化財子供塾 島根県立出雲養護学校大田分教室・大田市立第二中学校

1 活動の概要

6月28日（水）、島根県立出雲養護学校大田分教室・大田市立第二中学校の皆さんと「心に残る文化財子ども塾」を行いました。地域の遺跡を知ることによって古代の人の生活に関心を持ち、体験活動の土器作りを通して古代の人の生活にふれることを目的としました。

学校で実施された事前学習では、今の自分たちの生活と比べながら古代の人の生活について理解を深め、作りたい土器のデザインを考えてもらいました。当日は、学校近くにも古代の人の生活の跡が遺跡として沢山残されていることを学んで、実物の土器を見ながら自分が作る土器への気持ちを高めました。

土器を作り出すと、粘土をきれいに積み上げて作りたい形になるよう集中して表面を整えていました。模様をつける作業では、貝殻や紐などの道具を工夫しながら使い分けたり、ヘラで好きな模様を刻んで土器を飾り付け、全員が土器を完成させることができました。

2 活動の様子



みんな集中して作っています。



粘土紐を積んでどんどん土器を大きくしていきます。



それぞれ文様をつけて、土器が完成しました。

3 子ども塾を終えて

(1) 生徒の皆さんから…

- ・ 上手にできた。もっと大きくしたい。
- ・ 考えていたよりもかわいく土器ができた。
- ・ 絵がうまくかけた。

(2) 担任の先生から…

- ・ 普段見ることのできない実物を見ることができ、古代の人の生活について感じる事ができたと思う。さわっても良いレプリカなどがあると、手の感触から何か感じる生徒もいたのかなと思った。
- ・ 実物の土器を見せてもらい、作り方も実物で説明してもらえ分かりやすかった。実物を拡大するなど見やすくすると良い。
- ・ 臨機応変に対応してもらえてとても良かった。

(3) 世界遺産室から

生徒のみなさんは事前に古代の事や土器について学習したり、作りたいデザインを決めていたので、土器の作り出しがとても早かったです。底部を丁寧に作っている生徒さんが多く、器壁を高くしても潰れずに大きな土器が作れていました。